



こむら潤さん
赤田かつのりさんと
議員団

北部は舎羅林山の開発などを見込んで住宅開発が進んでいます。川西インターの開通で大阪・神戸・京都のベッドタウンとして期待されています。良好な住宅団地として世代交代していくうえで、医療・公衆衛生の確保はまちづくりの大きな要です。北部のまちづくりのために医療の確保を求める声を大きくしていきたいと思います。

請願「内科24時間確保」紹介人に

6月議会でも市民の方から「市は『基本協定』の背景・民意を尊重し、『北部診療所』が提供する『内科24時間診療』を含む北部地域における一次救急・外来診療を確保・対策するように求める請願」が提出され、私(黒田)は紹介議員になっていきます。請願は、15日に厚生常任委員会で審査されます。

6月議会

2学期から中学校給食スタート

米飯・和食中心の献立

スムーズに進める職員体制を

配送や食器などの回収を含め、これから詳細を検証、決定していくそうです。一番南から北まで配送するので、交通渋滞などの影響が起らない手立てが必須です。

アレルギー対応個別に

方式ですが、自校直営方式の小学校給食にできるだけ近づける努力をされ、週5日の米飯・和食中心の献立となります。現在、実施にむけて様々な準備をされていますが、「要求水準書」通りの職員配置となっているかなど、他市町の実況を調査した資料も配布して議論しました。

(別表参照)

調理から喫食まで「2時間」

学校給食法で調理から生徒の喫食までは2時間と決められています。それに対応した給食センター(久代3丁目)から市内7中学校への配送やアレルギー食(28品目)への対応が事業者(所長・事務員・栄養教諭・栄養士)に求められ、市側は献立作成や食品調達などの役割を担います。それを保障する職種・職員体制の保障を求めました。

4100食分、4台で配送

給食センターでつくる給食は全部で4100食分。4台の配送車(リース)で各学校へ運びます。

同課では、「学校の設置、廃止又は変更及び就学区域の設定又は変更」就学/学校基本調査及び児童、生徒の推計/学級編成/就学援助及び就学奨励/奨学資金/学校園所の給食学校給食会/川西市奨学基金などの関する業務をこなすことになっています。

現業務を十分行使できると、給食センターへの職員配置(5人)。どちらも大切です。

最初が肝心、早く推進体制を立派な建物が建っています。管理・運営を行う委託業者との連携など市職員に課せられている業務が順調に推進できるよ

う、最初が肝心です。改めて、今回明らかにされたかった職員配置については、「所長、事務職員、管理栄養士や栄養教諭などの配置」を強く求め、今後も注視していきたいと考えています。

うれしい夏休みランチ

市側の職員体制課題
今年度新しく発足した担当課「就学・給食課」には、現在12人の職員しかいません(別に副部長が3課を兼務)。

事業者提案の付帯事業として来年の夏休みには留守家庭児童育成クラブへのランチ提供が具現化できそうです。これは嬉しいことですが、公立のクラブだけでなく、民間クラブにも必要な児童にランチが提供できるように協議・調整を進めてほしいと要望しています。

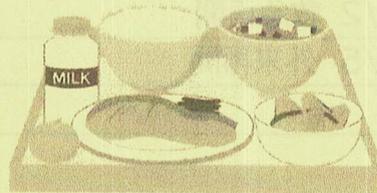
近隣市町の給食センターの職員配置状況について

給食センター職員配置	川西市	尼崎市	伊丹市	猪名川町
対象学校数	7校	17校	8校	小6、中2、幼3
最大調理能力(食)	4100	11000	6000	3500
配置職員	所長	1	1	1
	係長	1		
	事務職	3	3(2)	2(1)
	栄養教諭(県)	4	2	3
	管理栄養士	2		
備考				直営調理
合計(人)		11	5	5

※ 給食センター内に配置されている職員数等について

※ ()内の数字は、事務専門。お一人は所長を兼ねています。

・猪名川町は、直営調理(正規調理員5、再任用1、会計年度任用職員シフト制34人)
・伊丹市は、小17校、特別支援1校の給食は、給食センター2カ所(各6500食)で実施。
それぞれのセンターにセンター所長、事務員、管理栄養士がはりついています。



「子育て支援の充実」
市立幼稚園と保育所、通学や通園への交通費補助などについては、次号でお伝えさせていただきます。

